

1. 授業の概要(ねらい)

あなたは、人間は猿から進化してきた、ということを信じていますか？
日本人の多くは、ダーウィンが唱えた進化論を、当然のこととして信じています。
ところがアメリカ人で一般的な進化論を信じているのは、およそ25%ほどしかいません。
アメリカは近代日本、とくに戦後日本と深いつながりをもった国でした。
しかし実のところアメリカには、日本人からすれば驚くべき側面が少なくありません。
日本とアメリカには、社会構造だけでなく、それを支える世界観や思想に大きな違いがあるのです。
この講義では、おもにアメリカを中心としながら現代社会について考えます。
社会的事件や社会問題だけでなく、社会思想までを含めて論じます。
アメリカを社会学的に、さらには社会哲学的に理解するのが目的です。

2. 授業の到達目標

アメリカ社会を、政治、経済、文化など、多角的にイメージできるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

- ・原則として8割以上の出席を前提とする。
- ・適宜おこなう感想文の提出を必須とする。
- ・試験で講義内容とテキストにかんする理解度を問う。
- ・以上に授業態度をくわえ、総合的に判断して成績評価をおこなう。

4. 教科書・参考文献

教科書

藤本龍児 『アメリカの公共宗教:多元社会における精神性』 NTT出版

5. 準備学修の内容

この講義には、特別な前提知識は必要ありません。

6. その他履修上の注意事項

この講義だけで一つのまとまりをもっていますが、続けて社会学IIを履修することが望ましい。
講義は以下のような内容を計画しています。ただし、受講者の理解や関心に応じて柔軟に改変していきます。

7. 授業内容

- 【第1回】 はじめに
- 【第2回】 ネオリベリズム
- 【第3回】 金びか時代
- 【第4回】 進化論
- 【第5回】 ニューディール
- 【第6回】 個人主義
- 【第7回】 ナルシシズム
- 【第8回】 反共主義
- 【第9回】 ヴェトナム戦争
- 【第10回】 共同体主義
- 【第11回】 ゲイティッド・コミュニティ
- 【第12回】 共和主義
- 【第13回】 トクヴィル
- 【第14回】 公共性
- 【第15回】 おわりに